

水生植物コントロール

水生植物の中には、環境要因に対する強い適応力や著しく速い成長速度、無性繁殖による増殖力といった特性をもつものがあり、様々な問題を引き起こす水生雑草となる可能性を秘めています。水生雑草が蔓延ると、枯死した植物の腐敗による悪臭や景観破壊、水質悪化、生態系への悪影響、船舶の航行障害、通水障害、発電障害等、経済活動の障害にもなり得ます。これらの問題を回避軽減するために、水草刈取船を用いた機械的防除方法についてご紹介します。

主な特定外来生物・生態系被害防止外来種

ナガエツノグイトウ

オオカナダモ

オオバナミズキンバイ

ハゴロモモ

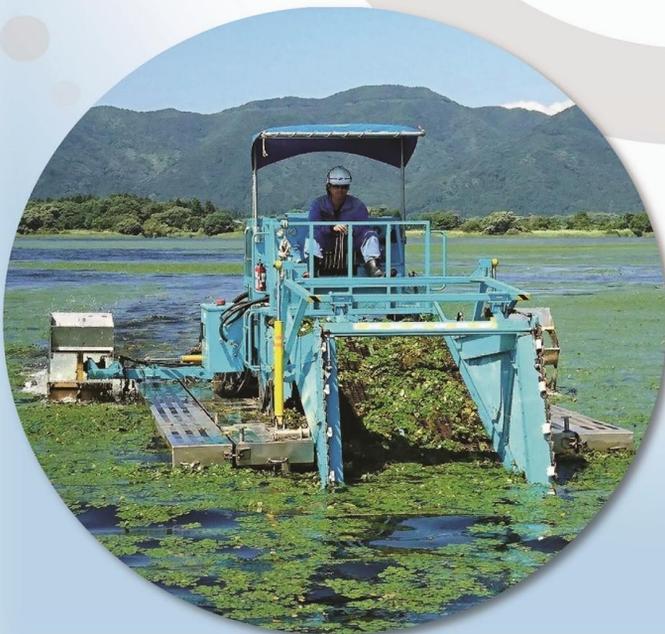
ホテイアオイ

ボタンウキクサ

《機械的防除》

水域環境を考慮した植生コントロール及び過剰な米養塩の除去といった要求を満たすことができます。

迅速な全量回収がポイント！
人力との併用でより効果的な施工をご提案します。



①機材搬入

トラックで現場へ輸送しラフテレーンクレーンで水面へ搬入します。



②水生植物の除去

メッシュ状のコンベアベルトにより、水と植物体を分離して植物体を回収します。



③回収物の揚陸

岸に敷いたロープモッコ上にコンベアで排出します。



④処分場への運搬

モッコをクレーンで陸揚げし処分場まで運搬します。



バイオマス炭化



堆肥化

焼却処分

刈り取った植物は、乾燥後に堆肥化、バイオマス炭化、焼却処分等の方法により処分します。近年は水草由来のバイオエタノールの開発や商品利用等、水草の様々な有効活用について注目されています。